

20周年 けやき コミュニティ ニュース

No. 95号 (通算 119号) 2009年8月15日発行



※委員会で使用したロゴマーク

委員会をふり返り、委員の一人として、そして北町五丁目の住民として、自問自答してきた思いを書きました。皆さんもこれを機会に、ごみのこと、クリーンセンターのことを考えてみてください。(村井 寿夫)

昨年9月から10ヶ月、一般公募枠で「(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会」に参加しました。この間、様々な資料や情報に目を通し、委員だけでなく、多くの方々とごみやクリーンセンターについて話し、様々な意見を聞かせました。

そもそもごみは減量できるのか？

新クリーンセンターの施設を考える上で、ごみの将来予測は欠かせない条件です。ごみ処理基本計画では、平成29年までの排出量(目標)を設定しています。平成29年には年間約5000tのごみ減量化・資源化が見込まれており、この前提となる将来人口は約5000人増と予測しているため、相当なごみ減量が必要です。

ごみの排出量(目標)は、一人当りの排出量目標と予測人口を掛けたものです。一般的な算出方法のようですが、この2つ数値はどちらも不確定であり、変動幅が大きくなるような気がします。さらに、多摩地区で大きな圏をもつ武蔵野市は、事業系のごみが可燃ごみの4割を占めています。そして、レストラン、事務所などの小規模事業者(10kg/日以下)は、家庭系ごみに含まれています。家庭ごみの減量に頼ったスローガン「ごみチャレンジ700g」には限界があると思います。(2ページへつづく)

＊ クリーンセンターを大事に使うために
いま私たちが出来る事 ＊

ゴミの減量

生ゴミの水気を切る
各家で堆肥にしたり
土に埋める

無駄のない
スリムな生活を・・・
買いすぎない。
作り過ぎない。

自分達のごみに
責任を持つ。
分別をしっかりと

＊今後の説明会等に参加しま
しょう。

＊クリーンセンターに見学
いきましょう。

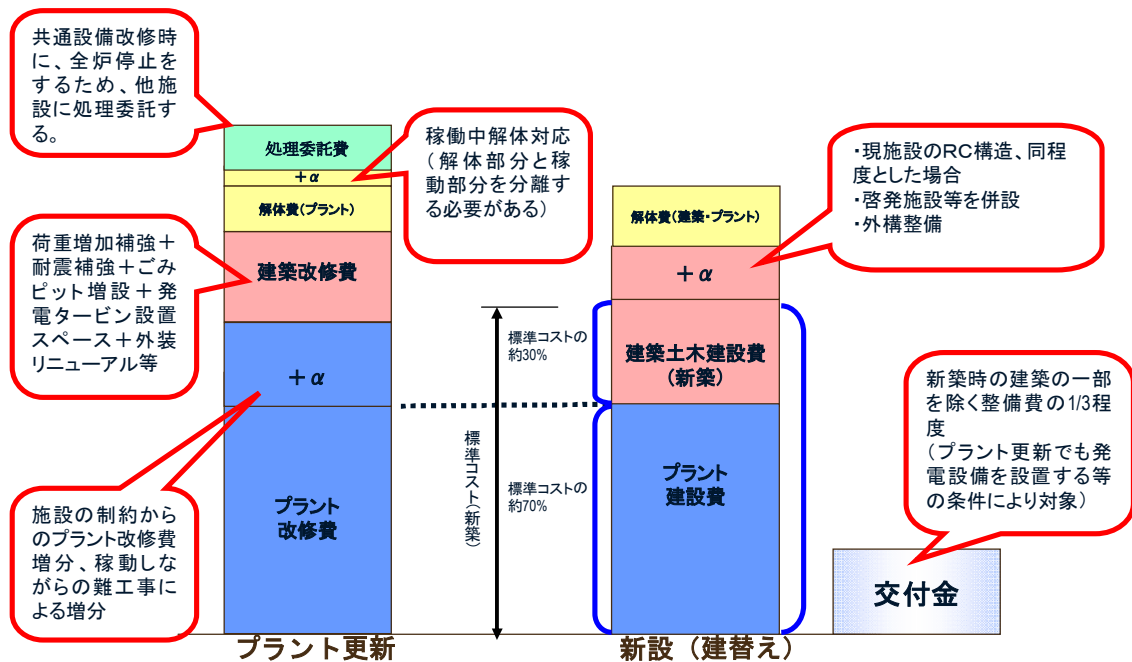
けやきニュース 95号紙面から

- 2面 クリーンセンター
建替えは必要なのか？
用地はあるのか？
- 3面 何が嫌か？
ごみ問題に関心を持つためには…
- 4面 けやき夏まつり・20周年企画
- 5面 イベント報告・「ひびのさんち」
- 6面 まちづくり局紹介
- 7面 コラム「ドラちゃん的眼」・
学生から見たけやきのまちづくり
- 8面 けやきコミセン物語 (2)

クリーンセンターの建替えは必要なのか？

「施設は延命すべき」「建物がもったいない」という意見をよく聞きました。焼却炉とボイラーの耐用年数は30年。委員会では適正なメンテナンスを受けたものを延命して、35年が限界だということを確認しました。小金井の二枚橋の処理場は、ボイラー爆発など大事故が起これば幸いでしたが、操業停止に至るまで約40年、現クリーンセンターは平成31年で稼動35年になります。35年を越えたハイリスクな稼動は、地元住民としても、行政としても行なうべきでない選択だと思います。そして、焼却施設は、事故はもとより緊急停止があっては困る施設です。

鉄筋コンクリート造である現クリーンセンターの建物の寿命は40年（平成36年まで）と設定されています。延命を図っても新機械設備の寿命の前に建替えが必要になりそうです。また、建物を残しても新しい設備の荷重や耐震補強のための大掛かりな改修や複雑な工事手順、廃炉後のダイオキシン対策等の課題があり、休止中のごみ処理に余計なコストがかかります。事例から求めた概算では、建築と土木（道路、緑化等）の建設費は整備費総額のおよそ3割、改修したとしてもこの3割はゼロにはならず、半額以上の支出は必要になりそうです。



現施設更新整備と建て替えとのコスト比較（委員会の最終報告書より転載）

最近、高井戸駅前（井の頭線）の焼却施設の建替え計画が出されましたが、これは相当な年限をかけて現施設を取壊し、同じ場所に建てる計画です。東京23区では、ごみ処理を同じ処理組合が運営しているので、休止中でも他の施設でカバーできるため、ごみ処理を外注する必要がありません。

クリーンセンターの用地は、あるのか？

現クリーンセンター用地は次善の策だと聞きました。武蔵野市には最善の場所はないのでしょうか。

当初の選定記録を見ても、今回の新クリーンセンター用地候補を見ても、あまり変わりがないようです。クリーンセンターを工場と考えれば、適地がないのは当然です。武蔵野市は、都市計画で100%用途地域が設定されており、工業地域はなく、準工業地域が僅かにあるだけです。そこで工場用地を選ぶためには、まず準工業地域、そして公園などの都市計画決定用地で事業未着手の土地、公共で未利用地を探すのが筋でしょう。その結果、現クリーンセンター用地が“次善”の策なのであれば、建設してからこれまで、施設更新のための“最善”の用地を探す努力をしてこなかったことは問題です。

しかし、たとえ準工業地域に土地が見つかったとしても、近くには必ず住宅やマンションがあるのが武蔵野市の実情です。武蔵野市は発想を変えて住宅地に立地できるごみ焼却施設を目指したのだと思いますし、これからも、その方向をさらに進めて、新たなクリーンセンターのあり方を追求する必要があると思われます。

クリーンセンターの何が嫌か？

現クリーンセンターについて地元の意見は、「存在がいやだ」「煙突がいやだ」「気にしたことがない」「今のままでよい」「・・・」と様々です。

現クリーンセンターの周りを歩いてみると、街路樹などに遮られ、意外に煙突の見えるところが限られています。煙突が間近に迫って見えるのは緑町3丁目から北町5丁目の千川上水南側です。千川上水北側の練馬区関町南4丁目は、上水の緑が遮蔽して、あまり見えないのですが、西窪橋（青梅街道～緑町コミセン）につながる道路からは、大きく見えます。現クリーンセンターの北側は運動施設であるために緑が薄くなっています。この地域では煙突が見えることで、いやでも毎日クリーンセンターの存在が意識されます。



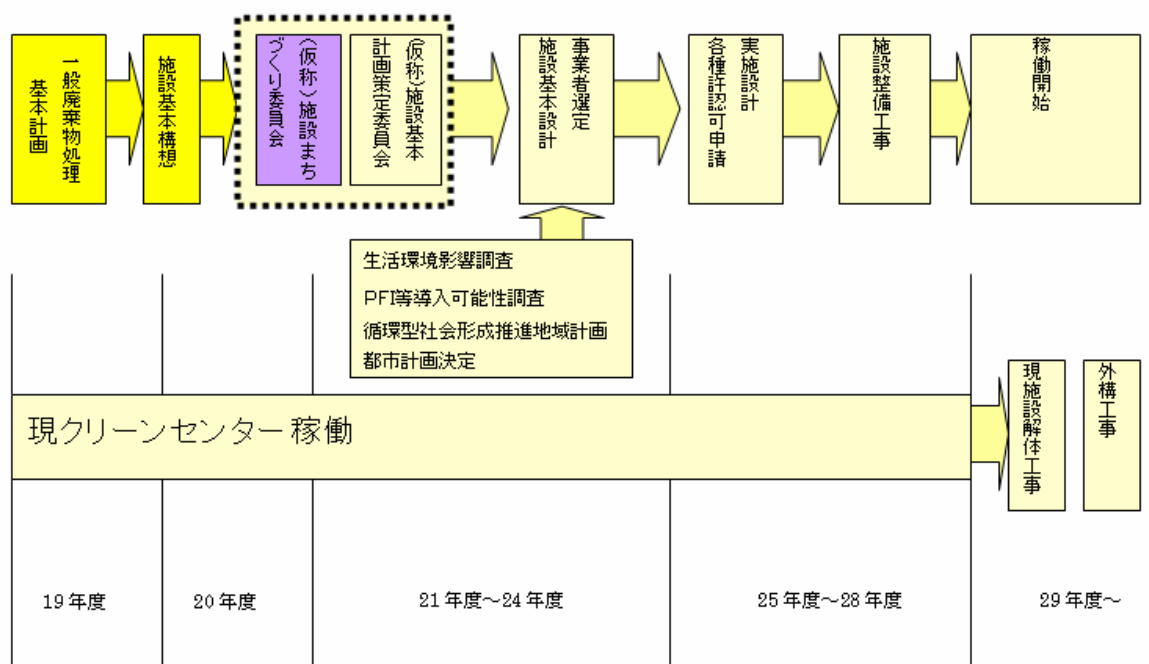
西窪橋北側（練馬区）から見た現クリーンセンターの煙突

現クリーンセンターの南側は市役所ですが、西側のパークタウンや東側の大野田小学校周辺では、街路樹や競技場の樹林があることと、距離が緑町3丁目よりは、離れているため、煙突がさほど視界に入りません。仮に今の煙突（高さ59m）が2/3程度（40m=13階程度）の高さであれば、景観的な不快感は軽減されるかもしれません。

全市民がごみ問題に関心を持つためには・・・

新クリーンセンターの検討委員会では、どうしたらクリーンセンター施設の更新に全市民が関心を持つかという話題が繰り返されました。とても難しい課題です。家の外に置けば、そして有料ごみ袋に入れば、ごみを持って行ってくれるのがあたり前の快適生活。その先にクリーンセンターがあることは、あまり意識されないでしょう。

新クリーンセンターが建設され、その周辺のまちに、他の町から注目されるような「何か」があれば、そのとき初めて、クリーンセンターの存在が全市民的な関心事となるのかもしれません。



現段階の新クリーンセンター整備スケジュール（委員会資料より転載）

◆けやきコミセン開館20周年の事業予定



けやきコミュニティセンター開館20周年記念コンサート

「おしゃべり音楽館」～気軽にクラシック～

2009年10月17日(土) 18時開演(17時30分開場)

武蔵野市民文化会館 小ホール



2004年の15周年記念コンサートでご好評いただいたオペラアンサンブル31の方々の出演です。クラシックや日本の歌曲、ミュージカルナンバーなどの美しい歌声と楽しいトーク満載のプログラムで皆様をお待ちしております。どうぞお誘い合わせの上お越し下さい。チケットはけやきコミセン窓口にて開館記念特別価格1000円で発売しております。

◆けやき納涼夏まつり

子ども達の夏休み最後の週末になる8月29日(土)に「けやき納涼夏まつり」と題して午後4時～8時まで開催します。今年は盆踊りを中心に子どもからお年寄りまで、参加された方が元気になる楽しいお祭りを目指してスタッフ一同準備に努めております!

雨天決行です。皆さま「マイ食器・マイお箸・マイコップ」をご持参でお越しください。

- * 屋台(やきとり・焼きそば・フランクフルト・みそ田楽・etc)
- * こどもブース(くじ・ヨーヨー)
- * きもだめし * ゲームコーナー

◆防災のイベント

～武蔵野市総合防災訓練に参加しませんか?～

- * 日時 8月23日(日) 午前8:30～12:00
- * 会場 大野田小学校
(他に横河電機、武蔵野陽和会病院)

いつ起こるか分からない災害に備え、武蔵野市では今年も総合防災訓練を行います。どなたでも当日会場にお越し下されば自由に参加出来ます。

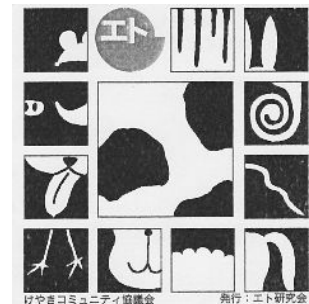
*当日は参加の皆さんに炊き出しと記念品を用意しています。

◆エト市場

今年の11月28日「エトフェスタ」を行います。毎年行っている「エト市」(野菜市、花市、フリマ、バザーetc...) +文化祭(エトを利用している団体の発表の場)といったイベントです。

普段、コミセンを利用している方の交流の場にしたいと考えています。ぜひ、どんな風になるか見に来てください。ご興味のある方はぜひご参加ください。また、文化祭協力団体、当日手伝ってくれる方を募集しています。歌や知識などを披露してみたい方、仲間を集めたい方、ぜひこの場を利用して下さい。また、おもしろそうだからちょっと関わってみようかなという方、ぜひ、手伝ってください。

「けやき茶社」(毎月第3土曜日)で詳しいお話をいたします。また、「エト研メンバー」をつかまえていただいても結構です。私たちの挑戦。ぜひ、暖かい目で…よろしく願いいたします。



けやきコミュニティ協議会

発行:エト研究会

(今年の丑エト券です!)

けやきあそび隊夏休み企画 '09

夏の工作 「ステンシルでハンカチを染めよう」 & 窯焼きピザ

7月29日(水)朝方までの雨も上がり、過ごしやすい日になりました。募集人数を大幅に超えた76人の参加があり、大盛況のうちに終わることが出来ました。

工作は白いハンカチに鮮やかな色をステンシルで色づけし、どれもきれいに仕上がっていました。

ピザは生地から伸ばし、各自好きなものをトッピング。“自分だけのピザ”を作っていざ石窯へ。アルミホイールに書いた名前が見えにくくて、自分のピザは

どれ??とちょっとハプニングもありましたが、焼きあがったアツアツのピザは“最高においしい〜っ”と満足そうに、ほおぼっていました。

参加してくれた子どもたち、お手伝いをしてくださったお母さん方、スタッフの皆様、暑い中本当にありがとうございました。

今回は・・9月12日(土)「お月見だんご」を企画しています。

お楽しみに〜



まちの中の美術館の

みなとみらい Walk & View に参加して

横浜開港150年記念でにぎわう街を散策。午前中はあいにくの雨で街歩きは取りやめ。横浜美術館の常設展を見た後、雨もすっかりやみ青空の中、中華街でランチ。港の見える丘公園、大棧橋ターミナル、赤レンガ倉庫、夕暮れの中開港Y150年イベント会場でアースバルーンのメッセージに感動し、夜景を堪能し帰途についた。

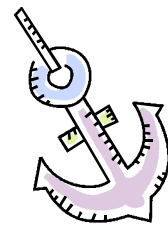
ここが日本の夜明けを迎えた港なのだ・・・

西欧文化に夢中な日本が目映る。

赤れんがの古い建物が点在する街と今でも帆船が出入りする港。

外国船の行き交う港が益々好きになった。

海の彼方の外国へ船で行く、ロマンがここでは今も生きている。



ご存知ですか?

ふれあいの居場所「ひびのさんち」

誰でも気軽に集って、何でもお話ができる「居場所」があったらいいね!との希いを元に「大野田福祉の会・有志による居場所づくりプロジェクトチーム」を立ち上げ、活動をはじめました。はじめは困難なことばかり。そこに日比野さんとの出会いがあり、ご自宅を「居場所」として提供してもよいとのこと。何回も相談会を重ねてやっと実現の運びとなりました。

名称=ふれあいの居場所「ひびのさんち」

運営=参加者全員の自由意志と声が十分に反映される事。

家主に迷惑かけないこと。お行儀よく使う事。

事務局=局員数名と家主も必ず参加する事。

等の取り決めて4月7日(火)初回がスタートしました。

おかげさまで中々の好評で、毎回20名位の出席です。

支え合いが目標です。どうぞお気軽においでください。



毎週火曜日 11時~15時まで 場所:北町4-10-31

(文責 郡司)

けやきまちづくり局



からだほぐしお食事の会

9/11(金) 第76回 11時～開催
今回はおはなし「ことわざのひみつ」
ダンベル体操・季節のお食事
申込受付は9/1(火)より(電話可)

けやきあそび隊

9/12(土) 13時30分～
『お月見団子づくりと折り紙』
詳細は9月に入り窓口にチラシを置きます。
申込受付は9/5(土)13時～直接窓口へ

けやきガーデナーズ

毎週月曜日の午前中に花壇のお手入れ、
種まきを行っています。
花作りを通してコミュニティの広がりを
願っています。
お花が好きな方、一緒にやりませんか？

よみきかせ紙ふうせん

毎月第4土曜日 11時～12時30分
絵本の読み聞かせや紙しばい、折り紙あそび
をしています。

あっとおどろくエコクラブ

子どもと一緒に地球の自然を大切にすることや、
エコについて考えます。

まちの中の美術館

美術館めぐり、街歩き など
現在 計画中！！

けやきまちづくり局は…“いいまちつくろう！”
という思いのもとに、この指とまれ！で結成され
たチームの集まりです。世代を超えた人たちの
参加で地域の方々も含め人の輪がどんどん広
がり、“人と人とのつながり”を感じられる素
敵な場となっています。どうぞご参加ください。

けやき囲碁のつどい

毎月第2日曜日 13時～開催しています。
どうぞご参加ください。

ぱそこん倶楽部

Myパソコン・Myデジカメに
強くなろう！！
毎月第3月曜日 13時30分～
勉強会をやっています。

風と歩こう

《四季の自然を訪ね、楽しくウォーキング！》
毎月第2火曜日 9時～中央公園
《地域を守るナイトウォーキング》
毎月第1・3火曜日 20時～けやきコミセン
* いつでもどなたでも参加できます *

エト研究会

地域通貨“エト”は、ありがたいの感謝の
しるしです。エト券がけやきからあなた
へ、あなたから次の感謝に手渡されていく
ことを願って発行しています。

けやき茶社

毎月第3土曜日 2時～4時
1階コミュニティルームにて開店！
男たちのカフェでサイフォンコーヒー・
中国茶&手作りスイーツが楽しめます。



ドラちゃんの眼

成蹊大の学生たちと武蔵野市を研究しているドラちゃんが、今、このまちで起っていることを皆さんにお伝えします。

【「エト」はすごいことはやろうとしているのかも？（2）】

エトは、モノやサービスに対する「ありがとう」の気持ちを表わしたものです。謂わば「ありがとう」が結晶となったものです。ではエトが古本や瀬戸物などのモノとなぜ交換できるのでしょうか？これらの古本や瀬戸物は、「けやき」に持ってきてくださったモノで、その時に「ありがとう」と言ってエトを差し上げています。つまり「けやき」にある古本や瀬戸物は、「ありがとう」が具体化したものとしてあるのです。「エト市場」では、それを「ありがとう」の結晶化であるエトで交換します。ここで大切なのは、これは「ありがとう」という場でのやり取りで、エトが円やクーポン券に換算されるような形で古本や瀬戸物と交換されたのではないということです。このやり取りは、「けやき」の「エト市場」、すなわち「ありがとう」で成り立ったコミュニティの中でしか意味を持ちません。ここでやり取りされているのは、「ありがとう」の気持ちなのです。このように「けやき」に持ってきてくださったモノを通じて「ありがとう」のやり取りが繋がっていくということは、エトをツールとして「ありがとう」のコミュニティが拡大したと言えます。次は、サービスとの交換のお話です。

学生から見た けやきのまちづくり

このコーナーでは、けやきで活動する学生達が、けやきで見つけた様々な発見について、皆さんに発信していきます。

< 「けやき」には「けやき」の時間が流れている。 >

成蹊大学文学部 加藤絵里子

集まりに参加させていただいた時…なかなか開始予定時間から始まらない。

「けやきタイムって何分だっけ?」「15分?」「30分じゃない?(笑)」なんて会話が始まる。

話し合いをする時…話がどんどん脱線し、話がすすまない。

参加した時、イライラした。でも、それがけやきだった。一人一人が無理のないペースでやるための時間。義務とかじゃなくて、楽しいからやっているための時間。

そして、来る人拒まず。

いきなり、高田先生に連れていかれて、何だかわからない私が話し合いに入っても、誰も拒絶せず、仲間に入れてくれる。「やりたいならやっていいよ。」そんな感じ。それは、自分のできること、やりたいこと、無理せず、楽しんでやっているからこそ、出せる雰囲気なのだろう。

2008年6月30日の「しゃべり場」で安藤さんのお話を聞いた後。

青島さんをはじめ、けやきの皆さんに「あんた達(高田Lゼミ)、なんかできそうだからさ、なんかやってみなよ。手伝うからさ。」とっていただいた。けやきに関わって2か月の得体のしれない学生にそんなことを言ってしまう懐の深さにびっくりした。ただ、自分のペースで楽しんでやっているから、そんなことをさらっと言えるのだろう。

さて、そんな言葉に甘え、「エト研究会」を通じ、挑戦してみようと思います。

けやきコミセン物語 (2)

けやき開館 20 周年を記念して「地域防災」をテーマに地域をつなごうと、プロジェクトチームが動き出しています。ナイトワークも定期的に続けられています。「災害に強い安心・安全のまち」を目指し住民の支えあいの関係づくりが進められています。さて、今回はけやき開設までの時期を「ユニーク」と言う切り口から物語りましょう。

ユニークなコミセンを建てよう (よく語り、よく学んだ)



前号で述べたように、「クリーンセンター用地選定を市民参加でやり直そう」を掲げて地域ぐるみの運動を成功させ周辺の「まちづくり市民委員会」まで発展させたこの地域の「私たち住民」は、当時武蔵野市コミュニティ構想に述べられた「市民参加」の申し子であったかもしれません。

運動の中で知り合い、認め合っていていった人間関係、新旧・年齢・男女の別なく、自由で闊達な語り合いや、あらゆる可能性を探ったこの活動の様はコミュニティ構想(1971)で述べる「市民が市政に積極的に参加し、行政と共に武蔵野をつくりあげていく」姿であり、まさに「市民参加」そのものでした。

この地域にも「自由に使えるコミセン」がほしいと、話し込みが始まりました。「今までのようなコミセンならいらない。税金の無駄遣い」と言う地域の声には「ユニークなコミセンを」と、「ユニーク」の中身や「この地域に似合う」コミセンのイメージや具体的中身を模索して語り合いました。

けやきコミセン建設運動(1982～)は「コミュニティ構想」という難解な文章をよむことからはじまりましたが、当時は「コミュニティ」と言う言葉そのものが一般にはわけのわからないものでした。わからないままに私たちは「コミュニティ」に取り組み、日々の活動によって「これがコミュニティ」かと感じてきたのかもしれません。

コミセンの建設用地が決まる前からまちの中にある程度広い人間関係があり、みんなで「コミュニティとは何ぞや」と言う勉強から始めました。当時の長期計画にもコミュニティの予想地区としてこの地域が図示されており、他の条件も申し分なく満たして手を挙げたので、すぐ実現するかと思っておりました。が、結果として完成までに異例の 7 年間がかかり、17 館中の 16 館目としての開館になりました。充分長い準備期間の間、けやきコミュニティ協議会を発足(84年11月)、「けやき」と言う名もすんなり決まりました。他のコミセンが西だの北だの町の名前をつけているのに、これもユニークです。あちこちのコミセン・図書館・美術館など見学・研修に行ったり、ニュースで広くお知らせし、まちの中の意見もよく聞きました。あきれほどよく話し合いましたし、活動資金の調達も、焼きだんごを売るなど、都営住宅の集会所や公園をお借りしました。

「土地がない」と言われ、地域の連携の力で土地(現さわやか公園、扶桑どおり公園内に差し替え)を見つけたり、住民側の設計者をたて永年の夢を形にしたり、行政とは緊張関係のなかで十数回も設計案の図面をやりとりし、「これでまとまらなければ延期」と報告された会議の中で全員が「ダメ」を出すというような経過を含めて、ついに合意しました。永年の話し合いの中身や活動の実態を反映して会則が作られました。

振り返ってみると、一番ユニークなのは関わった「人の集団」だったかもしれません。(Y. A)

けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

TEL 0422-54-8719

<http://www1.parkcity.ne.jp/keyaki-c/>

開館時間 9:30～21:30 水曜休館

☆ 編集後記 ☆

けやきコミセン周辺に住んで8年！子どもが成長するにつれ「地域」との関わりがどんどん太くなっていくのを感じています。私たちの大切な「地元」・「地域」の問題として多くの人に考えていただきたいという純粋な気持ちで「クリーンセンターの建て替え」について特集を組みました。拡大版の8ペー